

◇合同堅信式・新年礼拝

日時…1月13日(土) 14時  
場所…聖アンデレ主教座聖堂  
司式・説教…

広田勝一管理主教

◇2018年1月1日(月)

主イエス命名の日の礼拝について

教会グループ幹事教会牧師を通して各教会で検討いただき、下記の教会では合同の礼拝が行われます。

■礼拝執行の教会 (共に礼拝を捧げる教会)

・聖ミカエル教会(聖アンデレ教会)

・月島聖公会(聖救主教会)

・神愛教会(千住基督教会)

・聖愛教会(東京聖三一教会・東京聖十字教会)

・聖バルナバ教会(目白聖公会・東京聖テモテ教会・東京諸聖徒教会)

・清瀬聖母教会(聖フランシス聖エリザベツ礼拝堂)

・練馬聖ガブリエル教会(東京聖マルチン教会・池袋聖公会)

なお、今回は調整に時間的余裕がなく、この他の教会では従来通り各個教会で礼拝が持たれます。

◇常置委員会報告(12月13日)

主教、主教秘書報告

・東北教区より、主教按手式及び東北教区主教就任式祝いの礼状を受領

教務主事報告

・第129(定期)教区会の議案書を発送

・2017年度の統計報告書書式一式を各教会・礼拝堂の牧師・管理牧師宛てメールにて送付

・教区事務所は12月30日から1月8日まで休み

財務主事報告

・11月末までの会計報告

宣教主事報告

・各委員会の動向について  
・各教会等のクリスマス礼拝

及び代祷・信施奉献先を送付  
・管区宣教担当者の集い(京都)の報告

主教座聖堂主任司祭報告

・1月13日に教区新年礼拝及び合同堅信式を行う。

・1月19日から23日、ナザレ修女会で教役者リトリートを行う。

協議事項

・後任の財務主事に八木達郎(聖ペテロ教会)を選任

・小笠原聖ジョージ教会への教役者出張命令書を発行する。

・神愛教会の礼拝堂防水工事について承認

・財政委員会・委員長に奥山尚(聖パウロ教会)を承認

・信仰と生活委員会、人権委員会、広報委員会から推薦されている各新委員を承認

・社会福祉法人聖救主福祉会規約の一部改正を了承

・人事について

(次回、1月16日)

◇2018年度教役者会幹事  
▽塚田 重太郎 司祭▽須賀義和 司祭▽太田 信三 司祭▽菅

今週・来週の予定

12月24日～1月14日

- 24(日) 降臨節第4主日
- 25(月) 降誕日
- 26(火) 聖職養成委員会
- 30(土) 教区事務所 冬期休業
- 31(日) 降誕後第1主日
- 2018年1月
- 1(月) 主イエス命名の日
- 6(土) 顕現日
- 7(日) 顕現後第1主日
- 9(火) 教区事務所仕事始め
- 11(木) 東日本大震災、また世界各地の自然災害を憶えて祈る
- 12(金) 広報委員会
- 13(土) 新年礼拝・合同堅信式

原裕治司祭▽高柳章江聖職候補生

次点…▽下条裕章司祭▽下条知加子聖職候補生

▽認知症の人と介護者のための「祈りと交わりの会」

日時…12月29日(金) 11時～

聖餐式、12時～お茶会

場所…大森聖アグネス教会

司式…下条裕章司祭

▽顕現日の祈りの会

日時…1月6日(土) 14時～

16時

場所…聖バルナバ教会

お話…楡原民佳氏

～辺野古と高江の「今」～

主催…女性が教会を考える会

▽下町聖書の会(1月)

①日時…12日(金) 10時半

場所…神田キリスト教会

②日時…19日(金) 19時

場所…神愛教会

③日時…26日(金) 10時半

場所…神田キリスト教会

・学ぶ箇所は次の主日の聖書箇所です。下町G以外の方の参加も歓迎します。

◆初陪餐

12月17日立教学院諸聖徒礼拝堂

▽伊藤ともえ▽鹿島敏子(立教諸聖徒)

◆堅信受領

12月17日立教学院諸聖徒礼拝堂

▽伊藤ともえ▽鹿島敏子(立教諸聖徒)

◆とこしえの平安

12月8日 金田 一誠(97)

12月14日 猿渡 愛雄(72)

12月20日 遠山 明子(71)

◆主日の福音に聴く

日時…1月12日(金) 19時

場所…聖アンデレ教会・主教

座聖堂オフィス

講師…雨宮慧神父

受講料…500円

主催…聖アンデレ主教座聖堂

「教区時報コミュニケーション発行」

本日、教区時報コミュニケーション第41号を発行しました。

「教区事務所冬期休業」

12月30日(土)～1月8日(月)

「教区ニュース休刊」

12月31日号～1月7日号

「奉献先紹介」

エルサレム教区の難民支援活動

シリアの隣国ヨルダンには難民150万人が流入し、難民キャンプは満杯で多くがアンマンサルト、イルビッドなど大都市の内外に暮らしている。エルサレム教区では、主に3つの拠点で支援活動をしている。

☆聖パウロ教会(首都アンマ

ン)(牧師ジョージ・コプティ司祭)

地域内に住む貧しい難民家族を支援。クーポン券を配布して各々が自主的に必要な品を購入。品物を一律に配給するのでなく自立的な生活設計ができるよう図る。教会を開放して婦人や子どもたちに学びや交流の場を提供。

☆聖地ろうあ子どもの里

(Holy Land Institute for the Deaf)(サルト市、アンマンの西30km)(所長…司祭アンドリュウ修士)

3～21才の約120名が寄宿生活。耳が聞こえないため家族の中で放置され言語的に遅れていた子どもたちが、手話を習い、共同生活で意志疎通と社会性を学び、学力や技能を習得し大学に行く子もいる。「聞こえないことは障がいではない『音声に頼らない言語』を駆使して、広い社会でも自立してかけがえのない人生を送ることができる。」との信念に基づいている。広く難民も受け入れるセンターを複数設置している。

☆アラブ聖公会学校(イルビッド市、アンマンの北150kmシリア国境から30km)(所長…サミール・エサイド司祭)

3～16才40名の視覚障がい児と健常児が共生を学ぶ。約120名が市内外から通う。難民の視覚障がい児を受け入れ、家族関係のサポートもしている。

どの活動も、地域社会や教会と協力態勢を組み、政府、教区、欧米の教会の支援も得て、生活支援の努力をしている。しかしながら、あまりにも多い難民流入に支援が追いつかないのが実情である。

サラーム・パレスチナ

岩浅明子